



# 事業計画

**最終目標** 地域における通常の小中高等学校の体育現場において、アダプテッド体育・スポーツの視点が定着する

**2019年** 1年目(2019年11月から3月)

定着研修会の  
カリキュラムの  
立案と実施

**まなぶ**

定着研修会の実施

- ① プロトタイプ研修会の開発
- ② 様々な研修会スタイルオプション
- ③ 講師講習会システムの構築

**すぐに調べる**

ガイドブックの作成

- ① 効果的なガイドブックの開発
- ② ガイドブックの企画・出版

**知っている**

「アダプテッド」の周知

- ① HPの構築
- ② 宣伝・相互リンク事業
- ③ セミナーの開催

# 事業計画

**最終目標** 地域における通常の小中高等学校の体育現場において、アダプテッド体育・スポーツの視点が定着する

**2020年** 2年目

定着研修会の  
検証  
※オンライン

**まなぶ**

定着研修会の実施

- ① **プロトタイプ研修会の開発**
- ② 様々な研修会スタイルオプション
- ③ 講師講習会システムの構築

**すぐに調べる**

ガイドブックの作成

- ① **効果的なガイドブックの開発**
- ② ガイドブックの企画・出版

試験用ガイドブックをもとに  
質問紙調査

現場志向型コン  
テンツの構造

**知っている**

「アダプテッド」の周知

- ① **HPの構築**
- ② 宣伝・相互リンク事業
- ③ セミナーの開催

# 事業計画

**最終目標** 地域における通常の小中高等学校の体育現場において、アダプテッド体育・スポーツの視点が定着する

**2021年** 3年目

プロトタイプを基に90分や3時間などのパッケージを作成

**まなぶ**

定着研修会の実施

- ① プロトタイプ研修会の開発
- ② **様々な研修会スタイルオプション**
- ③ 講師講習会システムの構築

**すぐに調べる**

ガイドブックの作成

- ① 効果的なガイドブックの開発
- ② **ガイドブックの企画・出版**

効果的なガイドブックの再検討と出版

現場志向型コンテンツの構造

**知っている**

「アダプテッド」の周知

- ① **HPの構築**
- ② 宣伝・相互リンク事業
- ③ セミナーの開催

# まなぶ

さまざまな定着研修会でも効果は同じか？

## ■ 検討事項

- ・プロトタイプ(6時間)をもとに、さまざまな研修パターンを想定し、適用できるかを検討する。
- ・12時間タイプ(公開講座等)
- ・3時間タイプ(研修センター等)
- ・ショートタイプ(校内研修等)

## ■ 調査項目と方法

- ・アダプテッド・センシティブ尺度(仮称:AS尺度)の研修会前後の理解の変化を分析した。
- ・アダプテッド体育への主体性と適用度、障害者スポーツイメージおよび障害者イメージのポジティブ面を評価した。

### 障害者のためのアダプテッド・センシティブ尺度(仮)

Sensitive Scale of Adapted Physical Activity for people with disabilities

Q1: 障害および障害者スポーツに対するイメージについて教えてください

Q1-1. 「障害」から連想するイメージを、以下のなかから必ず3つ選んでください。

【障害者イメージのポジティブ面】

- |                                   |                                   |                                |
|-----------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 困っている    | <input type="checkbox"/> 個性的      | <input type="checkbox"/> 手低が必要 |
| <input type="checkbox"/> 不便なことがある | <input type="checkbox"/> その人らしさ   | <input type="checkbox"/> リハビリ  |
| <input type="checkbox"/> 自由に動けない  | <input type="checkbox"/> できることがある | <input type="checkbox"/> 車いす   |

Q1-2. 「障害者スポーツ」から連想するイメージを、以下のなかから必ず3つ選んでください。

【障害者スポーツイメージのポジティブ面】

- |                               |                               |                                     |
|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 楽しそう | <input type="checkbox"/> 大変そう | <input type="checkbox"/> チャレンジしてみたい |
| <input type="checkbox"/> 不便   | <input type="checkbox"/> 楽しい  | <input type="checkbox"/> 障害者のためのもの  |

Q2: 障害のある人のスポーツ参加場面に必要なものにイメージについて教えてください。

Q2-1. 障害のある児童・生徒・利用者とスポーツをするために必要だと思うことを、以下のなかから必ず3つ選んでください。【主体度】

- |  |                                       |
|--|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 障害者スポーツに詳しい先生やコーチ | <input type="checkbox"/> スポーツのルールの変更  |
| <input type="checkbox"/> 障害者スポーツの本や資料      | <input type="checkbox"/> 障害のある本人への相談  |
| <input type="checkbox"/> 障害者スポーツ用の道具や場所    | <input type="checkbox"/> 障害のある本人のサポート |

Q2-2. 体育の授業や自分が参加しているスポーツ活動で、バスケットボールでゲームをするようになりました。その活動に、「思い通りに動かない、手足をうまく動かせない選手」がひとり加わりました。みんなでバスケットを楽しむために必要だと思うことを、以下のなかから必ず3つ選んでください。【適用度】

- |   |
|---|
| <input type="checkbox"/> 障害のある選手がうまくなるように練習をがんばってもらう  |
| <input type="checkbox"/> 障害のある選手に無理をさせず得点や応援でがんばってもらう |
| <input type="checkbox"/> 障害のある選手にあまりボールを渡さないようにしてあげる  |
| <input type="checkbox"/> チームの選手全員が車いすにのって車いすバスケットをする  |
| <input type="checkbox"/> 障害のある選手が楽しめるようにルールをかえる       |
| <input type="checkbox"/> 障害のある選手にとって使いやすいボールにかえる      |

## まなぶ

さまざまな定着研修会でも効果は同じか？

### ■6時間タイプ(プロトタイプ)

- ・ A県A大学における教員免許更新講習会
- ・ 2021年8月
- ・ 小、中、高等学校、特別支援学校および幼稚園の教員、保育士(分析対象13名)

時間概ね	研修会としての行程	定着研修会としてのカリキュラム
120分	インクルーシブ体育の意義と理念	障害児の体育指導の意義と理念
120分	知的障害・発達障害の体育(講義・演習)	発達障害のある子どもの体育とインクルージョン
120分	パラリンピック教育(講義・演習)	パラリンピック教育と障害児指導

## まなぶ

さまざまな定着研修会でも効果は同じか？

### ■6時間タイプ(プロトタイプ)

結果 対応のあるT検定(全てdf=13)

	事前	事後	T値
アダプテッドの理解度	1.36±0.40	3.85±0.29	12.3 **
インクルーシブの理解度	2.85±0.29	3.92±0.07	6.51 **
障害のポジティブイメージ	2.71±1.49	3.86±1.46	2.83 **
障害者スポーツのポジティブイメージ	4.57±2.73	5.00±0.00	0.97
アダプテッド体育の主体性	2.86±1.05	4.00±1.23	3.31 **
アダプテッド体育への実践力	5.79±0.18	5.93±0.07	1.00

\*\* : p < .01

#### 実行委員会での評価

- ・ 講習を受けての学びや各教員のこれまでの経験、今後の体育の在り方などを総合的に答えていた。「これまで自分がやっていたことは障害のないことと同じことをどうやらせるかということに終始していたが、それは違うことが分かった」や「これまでどう対応すればいいか手探りだったが、今回、基本理念や実際の教材について学べてよかった」
- ・ 本プロジェクトのやっていることの必要性を感じさせてくれるものが多かった。

## まなぶ

さまざまな定着研修会でも効果は同じか？

### ■12時間タイプ

- ・ B県にある大学主催の公開講座
- ・ 2021年8月
- ・ 中・高中等教育学校の保健体育教員、小学校、義務教育学校、特別支援学校の教員30名

時間	研修会としての行程	定着研修会としてのカリキュラム
8/5(木)	アダプテッドとは？	
9:00-10:00	障害児の体育指導の意義と理念	障害児の体育指導の意義と理念
10:00-11:00	肢体不自由のある子どもの体育とインクルージョン	肢体不自由のある子どもの体育とインクルージョン
11:00-12:00	発達障害のある子どもの体育とインクルージョン	発達障害のある子どもの体育とインクルージョン
13:00-16:00	肢体不自由のある子ども、発達障害のある子どもの体育とインクルージョン	アダプテッド演習
8/6(金)		
9:00-12:00	障害のある子どもの体育とインクルージョン	インクルーシブ演習
13:00-16:00	特別支援教育の体育(重度・重複障害、聴覚障害)	

## まなぶ

さまざまな定着研修会でも効果は同じか？

### ■12時間タイプ

結果 尺度得点の変化(N=6)

	事前	事後	T値
アダプテッドの理解度	2.33±0.67	4.00±0.00	
インクルーシブの理解度	3.67±0.27	4.00±0.00	
障害のポジティブイメージ	3.33±2.67	4.33±2.27	
障害者スポーツのポジティブイメージ	5.67±0.27	5.50±0.30	
アダプテッド体育の主体性	3.67±2.27	4.33±2.27	
アダプテッド体育への実践力	5.67±0.27	6.00±0.00	

#### 実行委員会での評価

- ・ 「アダプテッド」という用語や概念の理解が確認できた
- ・ 「アダプテッド体育への実践力」は事前事後ともに高い → 普段から意識が高い先生、また普段から対象に合わせて様々な工夫をしている先生が、今回のような長時間の研修を受けに来ている。
- ・ 高校で保健体育の教員をしている先生から、「子どもの多様性を感じるが多くなり、その分、今までの指導でうまく行かないことを実感するようになった」などの意見があった

## まなぶ

さまざまな定着研修会でも効果は同じか？

### ■3時間タイプ

- C県の教育研修センター主催の初任者研修
- 2021年7月
- 特別支援学校所属の初任者77名

時間	初任者研修会としての行程	定着研修会としてのカリキュラム
13:00	はじめに	事前アンケート記入
13:10	講義：インクルーシブ体育の意義と理念	障害児の体育指導の意義と理念 障害のある子どもの体育とインクルージョン
14:00	<アリーナへの移動・休憩>	
14:15	演習：アダプテッドおよびインクルーシブ体育の実践	アダプテッド演習 インクルーシブ演習
15:30	休憩	事後アンケート記入
15:40	ふりかえり	
15:50	終了	

## まなぶ

さまざまな定着研修会でも効果は同じか？

### ■3時間タイプ

#### 結果

対応のあるT検定（すべてdf=72）

	事前	事後	T値
アダプテッドの理解度	1.64 ±0.79	3.81 ±0.52	19.61 **
インクルーシブの理解度	3.26 ±0.53	3.88 ±0.33	9.692 **
障害のポジティブイメージ	2.55 ±1.86	4.11 ±1.79	5.647 **
障害者スポーツのポジティブイメージ	4.77 ±1.43	5.29 ±0.46	3.187 **
アダプテッド体育の主体性	3.12 ±1.63	4.88 ±1.33	8.354 **
アダプテッド体育への実践力	5.81 ±0.66	5.96 ±0.20	1.951 †

\*\* : p < .01 † : p < .10

#### 実行委員会での評価

- 「アダプテッドの実践力」は、我々が期待していた望ましいと思われる変化をしていた。
- インクルーシブ演習では演技者が感じたことをダイレクトに発表してくれたことが効果的であった。
- 主催担当者からは、日頃、障害児と関わりがある分、かなり積極的に話し合いができたのではないかという感想があった。
- はじめにゲームを入れるなどチームビルディング的な要素を入れる必要があるかもしれない。

## まなぶ

さまざまな定着研修会でも効果は同じか？

### ■ショートタイムタイプ

- D区のD小学校の校内研修
- 2022年1月
- 小学校教員16名

時間	校内研修会としての行程	定着研修会としてのカリキュラム
15分	講義：インクルーシブ体育の意義と理念	障害児の体育指導の意義と理念 インクルーシブ教育とは アダプテッドとは
50分	インクルーシブな体育実践 【演習①】「障害のある子どもがやってくる」 【演習②】「一緒にやってみる」 【演習③】「試行錯誤してみる」	インクルーシブ演習
10分	その他 個別の質疑応答など	

## まなぶ

さまざまな定着研修会でも効果は同じか？

### ■ショートタイムタイプ

結果 対応のあるT検定（すべてdf = 13）

	事前	事後	T値
アダプテッドの理解度	1.31 ±0.40	3.61 ±0.76	8.78**
インクルーシブの理解度	3.38 ±0.42	3.84 ±0.14	2.52*
障害のポジティブイメージ	2.15 ±0.97	3.07 ±1.08	2.14
障害者スポーツのポジティブイメージ	3.54 ±3.60	4.85 ±3.47	2.62*
アダプテッド体育の主体性	3.85 ±2.31	4.77 ±2.36	2.52*
アダプテッド体育への実践力	5.46 ±0.27	5.69 ±0.23	1.90

\*\* p < .01, \* p < .05

#### 実行委員会での評価

- 短い研修時間の中で「アダプテッド」による子どもの変化を強調する必要がある。
- 小学校の先生に対する校内研修では、「障害へのポジティブイメージ」の変化を求めるよりも、まずは「アダプテッドの実践」や「インクルーシブな体育をやってみよう」と思ってもらえるような研修を行い、その後の取り組みを通して「障害へのポジティブイメージ」に変化が生じるとよいかもしれない。

# 事業報告

**最終目標** 地域における通常の小中高等学校の体育現場において、アダプテッド体育・スポーツの視点が定着する

**2021年 3年目**

**まなぶ**

プロトタイプを基に90分や3時間などのパッケージを作成

**定着研修会の実施**

- ① プロトタイプ研修会の開発
- ② 様々な研修会スタイルオプション
- ③ 講師講習会システムの構築

**効率的なガイドブックの再検討と出版**

**すぐに調べる**

**ガイドブックの作成**

- ① 効果的なガイドブックの開発
- ② **ガイドブックの企画・出版**

**知っている**

現場志向型コンテンツの構造

**「アダプテッド」の周知**

- ① HPの構築
- ② 宣伝・相互リンク事業
- ③ セミナーの開催

# すぐに調べる

## ガイドブックの企画・出版

### ■事業概要

昨年度の分析をもとに、現場に即したガイドブックの企画を行い、そのガイドブックの一部を、2月16日(本日)の研修会で使用し、その使用感についてアンケートを行うことになっている。

ここではその一例を紹介する。

障害のある子どもがいる体育授業のためのガイドブック  
**アダプテッドをやってみよう!**  
 ~すべての子どもが「いきいきと輝く」体育活動をめざして~

### 目次

#### 理論編

- ・アダプテッドの必要性・・・・・・・・・・・・・ 2
- ・アダプテッドのすすめ方・・・・・・・・・・・・・ 5

#### 実践編

- ・視覚障害・・・・・・・・・・・・・ 12
- ・聴覚障害・・・・・・・・・・・・・ 16
- ・知的・発達障害・・・・・・・・・・・・・ 20
- ・肢体不自由・・・・・・・・・・・・・ 24

# すぐに調べる

## ガイドブックの企画・出版

### アダプテッドの必要性

障害児体育の現状と課題からその必要性について

#### 1) スポーツをすることは人権

- 障害のある人がスポーツをすることは当たり前である(障害者権利条約第 30 条)。
- スポーツとは、競技種目だけでなく、遊戯としての身体活動、ビジネスで使われるスポーツなど様々である。
- 身体を動かすという人間の本源的な欲求に応え、精神的充足をもたらすものである(スポーツ庁、第二期スポーツ基本計画)。
- スポーツは、競技や勝利することだけの価値ではない。友情、尊敬に加え、勇気や決断、鼓舞、平等など、多様な価値がある。

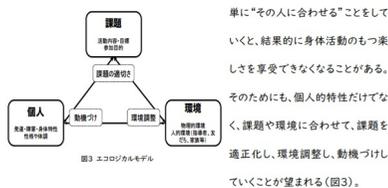
#### 2) 障害のある人のためのインクルーシブ教育

障害のある者が教育制度一般から排除されないことが望まれ、さまざまな学びの場で、障害のある児童生徒が教育を受けている。

特別支援学級の在籍者数は毎年平均7.6%増加し、小学校では「特別支援教育制」の影響を受け、さまざまな体育の授業形態が存在している。中学校では特別支援学級を中心、高等学校では通常学級のみで展開される傾向がある。

すると図2のような(諸説あり)、障害者を含め、身体活動をするうえで何らかのニーズのある人すべてが対象である。そして重要なのは、「その人に合わせる」ことを真骨頂とした方法論である。

#### 6) アダプテッド理論(エコロジカルモデル)



#### 7) アダプテッドと合理的配慮

合理的配慮とは、障害のある人が障害のない人と同等に人権を享受し行使できるように、一人ひとりの特徴や場面に応じて発生する喪失された部分を補い、困っている部分を取り除くための個別の調整や変更等のことです。アダプテッドは、合理的配慮の一部であるが、単に喪失・困難さの部分のみをみるのではなく、残された部分を捉えることで、本人や活動そのものの可能性を引き出すことに意図をもたせている。

もっと学びたい人へ

参考ホームページ  
 アダプテッド・スポーツの由来 (JASAPE 学会 HP 内)  
<http://www.adapted-sp.net/yan-jiu-jing-bao/adapteddo-supotsuno-you-tai>

# すぐに調べる

## ガイドブックの企画・出版

### ステップ2 バリアはなに?

体育授業のなかでみられる障害のある子どもの困りごとのバリアにはいろいろあると思いますが、ここでは大きく、「もの」と「人」、「ルール」の3つにわけてみました。

☆もの：体育で使う道具や授業環境が、障害のある子どもにとって使いにくかったり、アクセスしにくかったりするようなことです。

例：サッカーの授業で、肢体不自由のある子どもが車いすに乗っているため、授業に参加できない。

☆人：友だちとうまく教え合いや支え合いができなかったり、支援員や学習ポラ、協力教員の配置ができなかったり、指導者間の連携がとれなかったりするようなことです。

例：ソフトボールのゲームで、視覚障害のある子どもが孤立していて、試合の進行状況がわからない。

☆ルール：授業のなかで、達成しなければならない課題や、守らなければならない指示などがわからなかったり、難しすぎたり(逆に簡単すぎたり)するようなことです。

例：準備運動の時間、知的障害のある子どもが、他の子どもと同様に指示どおり、体操の動きができていない。

### ステップ3 アダプテッドのポイント?

バリアが何かかわれば、それを**変更したり、修正したり、何かを加えたり、減らす**ことで解決できるかもしれません。それがアダプテッドです。

☆もの：体育で使う道具や授業環境を、障害のある子どもにとって使いやすいものやアクセスしやすいものを用意してみる。

例：サッカーの授業で、肢体不自由のある子どもが車いすに乗っていてもできるボールとして、G ボールを用意する。

☆人：友だちとうまく教え合いや支え合いができるように、友だちの障害についてクラスで学びあったり、支援員や学習ポラ、協力教員を配置し、指導者間の連携がとれたりするようにする。

例：ソフトボールのゲームで、視覚障害のある子どもに、友だちや他の指導者が、試合の進行状況を実況中継する。

☆ルール：授業のなかで、達成しなければならない課題や、守らなければならない指示を、子どもの特性に応じて、わかりやすく、必要に応じて課題内容を変更したり、追加で情報を加えたりする。

例：準備運動の時間、知的障害のある子どもに、絵カードを使って指示したり、手の伸ばし方を変更したりする。



明日の体育で何をしよう？

アダプテッド種目一覧



種目で探してみよう



障害特性で探してみよう

アダプテッド種目一覧 種目で探してみよう 障害特性で探してみよう

明日の体育で何をしよう？ 種目で探してみよう

バレーボール

風船バレーボール



詳しくはこちら

フロア卓球バレーボール



詳しくはこちら

役割バレーボール



Coming Soon...

詳しくはこちら

シットイングバレーボール



詳しくはこちら

キャッチフロアバレーボール



詳しくはこちら

聴覚障害バレーボール



詳しくはこちら

アダプテッド種目一覧 種目で探してみよう 障害特性で探してみよう

明日の体育で何をしよう？ 障害特性で探してみよう

知的・発達障害

風船バレーボール



詳しくはこちら

フロア卓球バレーボール



詳しくはこちら

バランスボールサッカー



詳しくはこちら

なないるサッカー



詳しくはこちら

手繋ぎ絆サッカー



詳しくはこちら

フライングディスク・ドッジビー

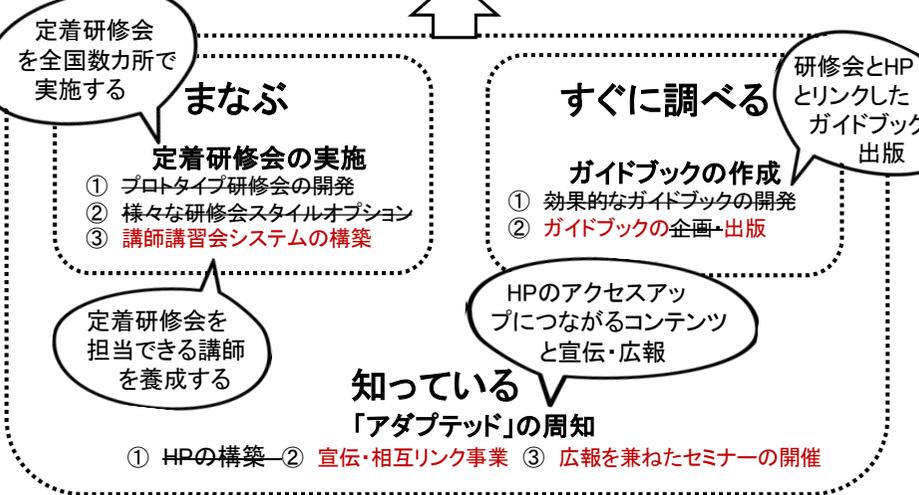


詳しくはこちら

事業計画(課題)

最終目標

地域における通常の小中高等学校の体育現場において、アダプテッドの視点が定着する



担当: 澤江幸則 sawae.yukinori.ka@u.tsukuba.ac.jp